

平成 18 年度研究業績

1. 学会発表

・ 学会発表 (日本)

1. 安藤富士子, 北村伊都子, 大藏倫博, 下方浩史. 一般地域住民における腹部肥満感受性因子の網羅的検討. 第 13 回日本未病システム学会. 東京, 2006. 12.
2. 下方浩史, 安藤富士子, 北村伊都子, 甲田道子, 大藏倫博. 加齢とメタボリックシンドローム-年齢別にみたメタボリックシンドロームのウエスト基準値の妥当性-. 第 13 回日本未病システム学会. 東京, 2006. 12.
3. 大藏倫博, 中田由夫, 堀田紀久子, 田中喜代次. メタボリックシンドロームを呈する肥満者の減量効果と肥満関連遺伝子多型との関連~オーダーメイド減量プログラムの開発に向けて~. 「新たな身体運動科学の創生 健康・スポーツ科学研究の推進」COEシンポジウム, 東京, 2006. 11.
4. 中田由夫, 大藏倫博, 堀田紀久子, 田中喜代次. 肥満遺伝子と身体情報を用いた減量効果および運動効果の予測. 「新たな身体運動科学の創生 健康・スポーツ科学研究の推進」COEシンポジウム, 東京, 2006. 11.
5. 大藏倫博, 中田由夫, 大河原一憲, 片山靖富, 沼尾成晴, 松尾知明, 田中喜代次. 減量指導による体重及び腹囲の減少とメタボリックシンドローム改善との関係: The SMART Study. 第 27 回日本肥満学会, 神戸, 2006.10.
6. 中田由夫, 大藏倫博, 松尾知明, 片山靖富, 沼尾成晴, 大河原一憲, 田中喜代次. メタボリックシンドローム改善に求められる条件とは? : The SMART Study. 第 27 回日本肥満学会, 神戸, 2006.10.
7. 大河原一憲, 田中喜代次, 中塘二三生, 片山靖富, 沼尾成晴, 松尾知明, 大藏倫博, 中田由夫. 減量期および減量終了後 10 ヶ月経過時の体組成変動に対する生体電気抵抗法の妥当性. 第 27 回日本肥満学会, 神戸, 2006.10.
8. 松尾知明, 大藏倫博, 中田由夫, 田中喜代次. 減量介入前の情報(体格, 食事摂取量, 身体活動量)で体重減少量をどの程度予測できるか: The SMART Study. 第 61 回日本体力医学会, 神戸, 2006.9.
9. 片山靖富, 中田由夫, 松尾知明, 沼尾成晴, 大河原一憲, 大藏倫博, 田中喜代次. 運動と食事による減量介入中の身体活動量と冠危険因子の変化. 第 61 回日本体力医学会, 神戸, 2006.9.
10. 野又康博, 中田由夫, 大河原一憲, 沼尾成晴, 片山成晴, 松尾知明, 大藏倫博, 田中喜代次. 体重減量が血清脂質画分に与える影響と炎症の関連性について. 第 61 回日本体力医学会, 神戸, 2006.9.
11. 奥野純子, 戸村成男, 柳 久子, 藪下典子, 大藏倫博, 田中喜代次. 初回の運動教室参加者と非参加者の 6 ヶ月目調査の非参加状況とビタミンDとの関連. 第 65 回日本公衆衛生学会, 富山, 2006.10.

12. 重松良祐, 大藏倫博, 北角俊. つまづき後の転倒を防止するスクエアステップの効果と自主活動としての継続性. 第 65 回日本公衆衛生学会, 富山, 2006.10.
13. 藪下典子, 田中喜代次, 大藏倫博, 小澤多賀子, 斉藤あゆ美, 奥野純子, 戸村成男. 新予防給付サービスにおける運動器の機能向上を目的とした体力づくり教室の有効性. 日本プライマリケア学会, 愛知, 2006. 5.
14. 田中喜代次, 藪下典子, 林容市, 坂井智明, 中田由夫, 大藏倫博, 竹田正樹, 檜山輝男. 循環器系疾患による死亡者と生存者における活力度の比較. 第 24 回臨床運動療法研究会, 大阪, 2006. 4.
15. 新村由恵, 田中喜代次, 大藏倫博, 小澤多賀子, 藪下典子, 斉藤あゆ美, 奥野純子, 戸村成男. 転倒予防に重点を置いた運動教室が転倒発生頻度に及ぼす効果の検証. 第 24 回臨床運動療法研究会, 大阪, 2006. 4.
16. 大河原一憲, 田中喜代次, 中田由夫, 片山靖富, 中塘二三生, 大藏倫博. 3 ヶ月間の減量介入による体幹・四肢別の体組成変化について. ボディコンポジションと代謝研究会, 東京, 2006. 1.

• 学会発表 (海外)

1. Tomura S, Yanagi H, Tanaka K, Okura T, Yabushita N, Okuno J. The Association between Vitamin D Levels and Functional Capacity of Daily Living among Japanese Frail Elderly. The 28th ASBMR Annual Meeting, Pennsylvania USA, 2006. 9.
2. Tanaka K, Nakata Y, Ohkawara K, Numao S, Katayama Y, Yabusita T, Okura T. Effects of weight reduction on vital age of obese women -diet vs. diet and exercise-: The SMART Study. The 10th International Congress on Obesity. Sydney Australia, 2006. 9.
3. Okura T, Nakata Y, Ohkawara K, Numao S, Katayama Y, Matsuo T, Tanaka K. Effect of aerobic exercise training on metabolic syndrome in response to weight reduction: The SMART Study. The 10th International Congress on Obesity. Sydney Australia, 2006. 9.
4. Nakata Y, Ohkawara K, Numao S, Katayama Y, Okura T, Tanaka K. Effect of Leisure-Time Exercise after Weight Reduction on Maintenance of Weight and CHD Risk Factors: The SMART Study. The 10th International Congress on Obesity. Sydney Australia, 2006. 9.
5. Numao S, Hayashi Y, Katayama Y, Matsuo T, Shimura Y, Ohkawara K, Nakata Y, Okura T, Tanaka K. Gender differences in fat kinetics and substrate utilization during endurance exercise in obese subjects. The 10th international congress on obesity. Sydney Australia, 2006. 9.
6. Ohkawara K, Nakadomo F, Nakata Y, Numao S, Katayama Y, Okura T, Tanaka S, Tanaka K. Regional Fat Mass Changes During Weight-loss Intervention in Japanese Men. The 10th international congress on obesity. Sydney Australia, 2006. 9.
7. Katayama Y, Tanaka K, Okura T, Nakata Y, Ohkawara K, Numao S, Matsuo T, Okubo H, Nakagaichi M. Serum lipid changes do not influence blood fluidity during a weight-loss intervention in obese Japanese women: The SMART Study. The 10th international congress on obesity. Sydney Australia, 2006. 9.

2. 学術論文

・和文

1. 田中喜代次, 林容市, 中田由夫, 大藏倫博. メタボリックシンドローム診断における運動療法の基本コンセプト. 日本臨床. 64:574-579, 2006.
2. 片山靖富, 中田由夫, 大河原一憲, 沼尾成晴, 松尾知明, 大藏倫博, 田中喜代次. 食事制限と運動の実践による血清脂質の変化が血液流動性に及ぼす影響—減量前後の変化に着目して. 肥満研究. 12:225-233, 2006.
3. 鈴木恵美, 大藏倫博, 中田由夫, 大河原一憲, 片山靖富, 沼尾成晴, 田中喜代次. 食行動意識が肥満男性の活力年齢および減量効果に及ぼす影響. 肥満研究. 12:112-118, 2006.
4. 魏丞完, 大藏倫博, 中田由夫, 大河原一憲, 沼尾成晴, 片山靖富, 田中喜代次. 肥満度と介入方法の違いが内臓脂肪型肥満者の減量効果に及ぼす影響. 肥満研究. 12:47-53, 2006.

・英文

1. Okura T, Rankinen T, Gagnon J, Lussier-Cacan S, Davignon J, Leon AS, Rao DC, Skinner JS, Wilmore JH, Bouchard C. Effect of regular exercise on homocysteine concentrations: the HERITAGE Family Study. European Journal of Applied Physiology 98:394-401, 2006.
2. Shigematsu R, Okura T. A novel exercise for improving lower-extremity functional fitness in the elderly. Aging Clinical and Experimental Research 18:242-248, 2006.
3. Shigematsu R, Okura T, Kumagai S, Hiyama T, Amagai H, Tanaka K. Cutoff and target values for intra-abdominal fat area for prevention of metabolic disorders in pre- and post-menopausal obese women before and after weight reduction. Circulation Journal 70:110-114, 2006.

3. その他論文

1. 大藏倫博. メタボリックシンドロームを呈する肥満者の減量効果と肥満関連遺伝子多型との関連. 平成 17 年度財団法人循環器病研究振興財団研究助成業績報告集. 14-18, 2006.
2. 大藏倫博 (分担研究者), 北村伊都子 (研究協力者). 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業報告書「生活習慣・背景因子・遺伝要因による総合的骨粗鬆症リスク診断システムの開発」主任研究者: 安藤富士子.
3. 大藏倫博 (分担研究者). 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患総合研究事業報告書「心血管疾患のハイリスク患者スクリーニングのための新たな診断システムの構築とその臨床応用」主任研究者: 北 徹.
4. 中田由夫, 田中喜代次, 大藏倫博, 堀田紀久子. 減量後のリバウンドが冠危険 因子に及ぼす影響とリバウンドを規定する肥満遺伝子の探索. 第 21 回健康医科学研究 助成論文集 83-90, 2006.

4. 著書

1. 大藏倫博, 重松良祐, 田中喜代次. 内臓脂肪の減量プログラム. (編) 田中喜代次, 牧田茂. 中高年者のための運動プログラム 病態別編. ナップ. 東京, 32-36, 2006.
2. 田中喜代次, 大藏倫博編著. 健康運動の支援と実践. 金芳堂. 京都, 2006.

5. その他

1. 大藏倫博. 第 20 回筑波大学河本体育科学研究奨励賞受賞「Effects of aerobic exercise and obesity phenotype on abdominal fat reduction in response to weight loss」2006. 11.
2. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 1 回「なぜ減量が必要かー賢く、スマートに減量したいあなたへー」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 5 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 5.
3. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 2 回「減量の常識・非常識 ～あなたの減量はなぜうまくいかないのか?～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 6 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 6.
4. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 3 回「減量を始める前にすること ～決断, 動機づけと目標設定～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 7 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 7.
5. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 4 回「減量に役立つ食事の工夫 ～栄養バランスの確保とカロリー制限のコツ～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 8 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 8.
6. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 5 回「減量に役立つ食事の工夫 ～所見別の食事の工夫と栄養補助食品の活用～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 9 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 9.
7. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 6 回「減量に効果的な運動とは【基本編】 ～運動の種目・強度・時間・頻度～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 10 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 10.
8. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 7 回「減量に効果的な運動とは【基本編】 ～ジョギングとウォーキング、有酸素性運動とレジスタンス運動、そして減量プログラムに最も適した運動とは?～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 11 月号. 健康・体力づくり事業財団 12-15, 2006. 11.
9. 田中喜代次, 大藏倫博. 第 8 回「減量に効果的な運動とは【応用編】 ～スマートダイエット®のユニークな運動法: 運動の時間帯、食後の運動、出張中の運動、屋外で運動できない時の対応策～」賢い減量のためのプロの知識・プロの技術. 健康づくり 12 月号. 健康・体力づくり事業財団 14-17, 2006. 12.
10. 野又康博, 中田由夫, 大藏倫博, 田中喜代次. 日本体力医学会シンポジウム「脂肪、高脂血症、糖尿病に対する運動療法」第 61 回日本体力医学会. 神戸, 2006. 9.
11. 大藏倫博. 臨床運動療法研究会シンポジウム「肥満研究における新たな取り組み」: 減量プログラムとして取り入れるべき運動とは? 第 25 回臨床運動療法研究会. 茨城, 2006. 7.